

ねりまの文化財

ふるさとの文化財を大切に！
文化財保護強調週間

東京文化財ウィーク二〇〇三

11月1日から7日は文化庁が主催する「文化財保護強調週間」です。昭和二四年、法隆寺金堂の失火により世界最古の木造建築物に描かれた白鳳時代の壁画が焼損してしまいました。この事件を教訓として、翌年には文化財保護法が施行されるなど、文化財保護への取り組みが強化されました。

「文化財保護強調週間」は、様々な行事や広報活動を推進することによって、国民共有の財産としての文化財に対する愛護思想を普及するために、昭和一九年に定められました。東京都では、平成一〇年度からこの週間前後を「東京文化財ウィーク」

として、都内全域で一斉に文化財(国指定及び都指定文化財)を公開するとともに、関連する企画事業をあわせて実施しています。これにより文化財に触れる機会を皆さんに提供するとともに、地域の歴史や古くからの文化に関心を持っていただこうとするものです。

本年度は、11月3日(月・祝)から9日(日)までの七日間に、二百ヶ所ほどの文化財が公開されます。さらに、10月1日(水)から11月30日(日)まで、講座など百件ほどの文化財保護企画事業が都内各地で行われます。

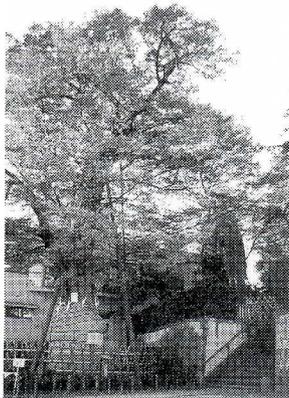
練馬区内でも、調査発表や特別展

練馬区教育委員会
生涯学習課
(文化財係)
☎3993-1111
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1

といった六事業を企画しました。また、国指定の天然記念物「練馬白山神社の大ケヤキ」など国・都指定文化財が公開されます。

普段から見学できるものもありますが、公開期間中は場所を示すのぼりが立てられ、解説カードも用意されますので、この機会に訪れてみてはいかがでしょうか。

本号でご案内の文化財講座や「わがまち再発見」の参加方法など、詳細は10月21日発行の「ねりま区報」でお知らせします。



練馬白山神社の大ケヤキ

第15回練馬区伝統工芸展

〜練馬に生きる
江戸の心と技〜

長い歴史に培われた伝統工芸の数々。父から子、子から孫へと受け継がれ、現在も私たちの生活の中に生き続けています。その作品の一つひとつには、職人の英知や技術、心意気までもが込められており、「江戸の心と技」を感じ取ることができます。練馬に伝わる伝統工芸のすばらしい技術と作品にぜひ触れてみてはいかがでしょうか。

▼とき 11月2日(日)〜4日(火)
午前10時から午後6時まで
(4日は午後4時まで)

▼ところ 石神井公園区民交流センター
西武池袋線「石神井公園駅」
北口下車 徒歩1分

▼主催 練馬区伝統工芸会
▼後援 練馬区・練馬区教育委員会

文化財講座「伝統工芸講演会」

*期間中の11月4日(火)に、職人を招いて伝統工芸講演会を開催します。

ふるさとねりまを知ってみませんか

調査研究発表会

「千川上水・田柄用水」 石神井城フォーラム」

現在、文化財講座の受講生が教育委員会の呼びかけに応じ、ボランティアで千川上水と田柄用水の歴史を調べ、現況を調査・記録しています。その成果の地図や写真を展示し、調査の報告をします。また、今年で最後となる石神井城跡の構造説明発掘調査(区民参加)についてスライドを使って解説します。

●日時 11月2日(日)

午後1時30分～4時

各発表時間についてはお問合せください。

●会場 練馬区職員研修所

【豊玉北5-27

練馬駅下車徒歩8分】

●発表内容①千川上水調査報告

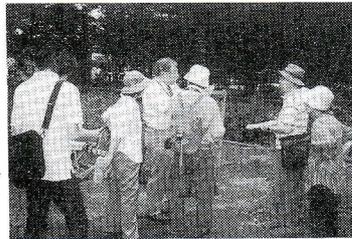
②田柄用水調査報告

③石神井城跡調査報告

千川上水・田柄用水を調査しています

区民の皆さんと流路の確認と現況調査を実施しています。千川上水は江戸時代に飲料水として、田柄用水は明治時代に農業用水として引かれました。

調査は、千川上水は西東京市・武蔵野市の玉川上水取水口から豊島区まで、田柄用水は西東京市の田無用水分水口から板橋区の石神井川合流点までとされています。古地図などを頼りに、実際に千川上水や田柄用水をたどってみるといろいろな発見があります。



石神井城跡発掘調査現場解説会

10月に発掘調査を実施する主郭内部の土坑(地下室?)を公開し解説をします。

●日時 11月3日(月・祝)

午前11時～午後2時30分

●場所 石神井城跡主郭跡

(石神井公園三宝寺池南側の台地)

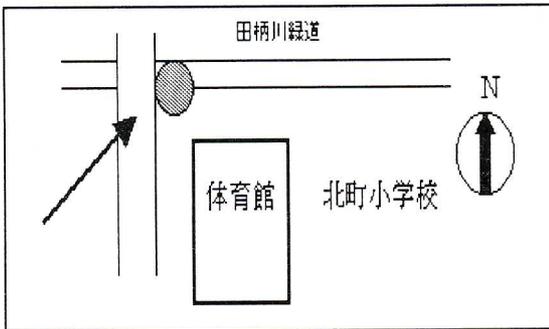
「徳川綱吉御殿跡之碑」を

建立します

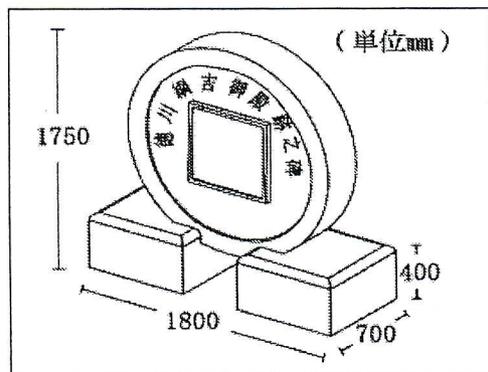
江戸幕府第五代将軍徳川綱吉が将軍就任前の寛文年間(17世紀後半)に、「鷹狩御殿」を建てたことに由来して「徳川綱吉御殿跡之碑」を建立します。

*「綱吉と鷹狩」については、本誌第55号(平成14年10月発行)に詳しく掲載しています。また、同じ内容を文化財係のホームページ(本号の4面参照)にも掲載しています。

●設置場所 北町小学校(北町1-14-11)の北西角、田柄川緑道沿い



●石碑の形について
1.5mの円形、黒御影石製
・将軍綱吉治世により発行された「寛永通宝」を模したもので、設置場所に相応しいモニュメントとしました。



除幕式として記念講演会を開催します

○日時 平成15年11月16日(日)

午前10時

○会場 北町小学校体育館

○講師 松下正巳先生

○演題 「将軍綱吉とねりま」

* 講演終了後、セレモニー(除幕・記念植樹)を現地で行ないます。

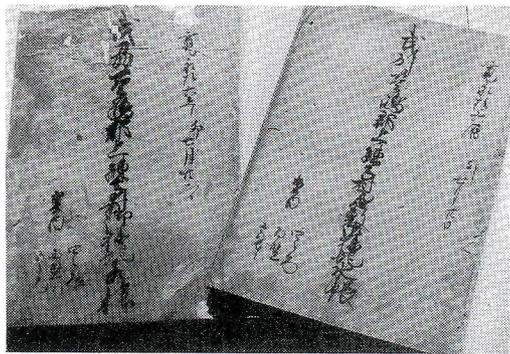
郷土資料室 特別展

「江戸時代の練馬」

徳川家康は、慶長八年(一六〇三)、征夷大将軍に任じられ、江戸幕府を開きました。今年はその年からちょうど四百年目にあたります。郷土資料室では、これを記念して江戸時代の練馬に関する特別展を開催します。

現在の練馬区域の村々は、江戸時代、江戸で生活する人々が消費する野菜の生産地でした。また、江戸近郊に位置しているため、徳川一族の鷹場が設置されたり、盛岡藩南部家の抱地が置かれたりしました。

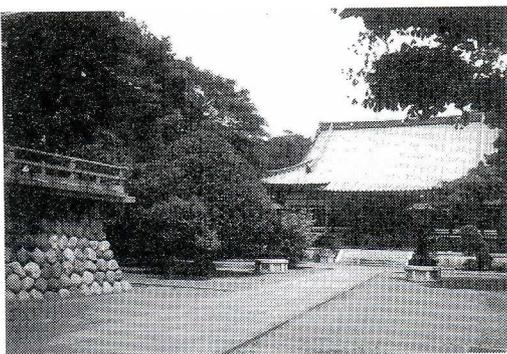
このように、練馬区域の村々は、江戸との関わりを持ちながら発展し、その傾向は時代が下るにつれてますます関係が深くなってきました。



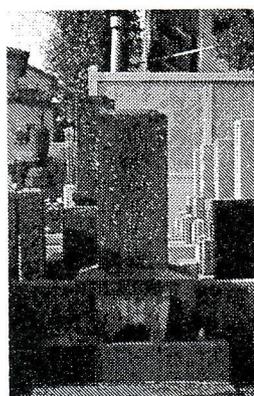
寛文16年の検地帳 (長谷川家文書)



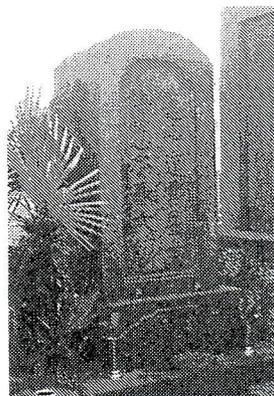
相原家薬医門



愛染院



小野蘭山墓



池永道雲墓

一方で、江戸後期になると「江戸名所図会」に三宝寺池や諸社が紹介されるなど、区域の一部は名所としても注目されるようになります。それらの場所には、景勝を求めて江戸の文化人たちも訪れています。

今回の特別展では、江戸時代の練馬について、様々な資料から紹介します。是非、お越しください。

○会場 練馬区郷土資料室

石神井台1-16-31

Tel 03-3996-0563

○日時 10月25日(土)〜12月14日(日)

*ただし、11月3日を除く月曜日、11月4日(火)、11月28日(金)は休業

○開室時間 午前9時〜午後5時

文化財めぐり

「わがまち再発見」を開催します!

郷土資料室では、練馬区内の史跡や自然などの解説を聞きながら徒歩で巡る「わがまち再発見」を年2回開催しています。今回は、国指定天然記念物の練馬白山神社の大ケヤキ、都指定旧跡の小野蘭山墓、池永道雲墓、都指定史跡の尾崎遺跡など、練馬・早宮・春日町方面の文化財を探訪します。

○日時 11月9日(日)

午前9時〜午後12時30分

○コース 平成つつじ公園に集合↓阿弥陀寺↓白山神社↓蕎麦喰地蔵↓小野蘭山墓↓池永道雲墓↓中之橋↓堰婆さんの黒松↓内田家の屋敷林↓寿福寺↓春日神社↓尾崎遺跡↓相原正太郎家住宅↓長谷川名主門↓練馬大根碑↓愛染院↓又六庚

申塔(春日町青少年館内)で解散

約四キロメートル

○定員 60名(抽選)
○費用 50円(保険料)

掲載した事業への参加方法など詳細は「ねりま区報」10月21日号をご覧ください。

東京文化財ウィーク2003で公開される区内の文化財

練馬白山神社の大ケヤキ

(国指定天然記念物)

白山神社の拝殿前と階段下に二株あります。源義家が一〇八三年に東北方面の征伐の戦勝祈願をした時に苗木が奉納されたと言伝えられています。

〔所在地〕練馬4-2白山神社境内
〔交通〕豊島園駅(西武池袋線)・都営大江戸線)下車徒歩5分

〔公開時間〕午前9時〜午後5時

小野蘭山墓(東京都指定旧跡)

小野蘭山(一七二九〜一八一〇)は江戸中期に活躍した本草学者(博物学)で、『本草綱目啓蒙』四八巻は、我が国では最大の本草学の文献といわれます。墓所は関東大震災後、西浅草から移転してきました。

〔所在地〕練馬4-27迎接院墓地内
(十一ヶ寺墓地)
〔交通〕豊島園駅(西武池袋線)・都営大江戸線)下車徒歩3分

〔公開時間〕午前9時〜午後4時

尾崎遺跡(東京都指定史跡)

出土品は区指定有形文化財)

区立春日小学校の建設にあたって、昭和五四・五五年に発掘調査された旧石器時代から近世までの複合遺跡です。春日小学校のグラウンドが指定範囲となっています。ナイフ形石器や縄文土器、中近世の陶磁器などの出土品が校内の展示室でご覧になれます。

〔所在地〕春日町5-12-1

春日小学校内

〔交通〕練馬春日町駅(都営大江戸線)下車徒歩8分

〔公開時間〕土曜、日曜、祝日の午前10時〜午後4時

*必ず学校受付にお申し出下さい。

《尾崎遺跡出土品解説会》

11月9日(日)午前10時30分から午後2時まで、学芸員が出土品についての解説を行います。



尾崎遺跡出土品

石神井城跡及び三宝寺池

(東京都指定旧跡)

三宝寺池は武蔵野三大湧水池の一つで、かつては湧き水が豊富で、石神井川の源流にもなっていました。その南側の台地に、石神井城跡があります。中世にこのあたりを支配していた豊島氏の城で、太田道灌に攻められ、一四七七年に落城しています。城の中心と考えられている部分には、土塁や堀がよく残されています。

○主郭の特別公開

11月3日〜9日 10時〜16時

〔所在地〕石神井台一丁目ほか

都立石神井公園内

〔交通〕石神井公園駅(西武池袋線)下車徒歩10分

三宝寺池沼沢植物群落

(国指定天然記念物)

三宝寺池の中央、「中の島」周辺が指定範囲となっています。コウホネなどの水生植物を中心に、貴重な植物相がみられます。水質の悪化などにより、絶滅してしまった植物もありますが、保護への取り組みが続けられています。

(所在地などは右記に同じ)

* 文化財を訪れる際には、所有者や周囲の迷惑とならないよう注意しましょう。

文化財の情報がホームページでも!

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/shiryo/bunkazai/>

または、区のページから「歴史・文化財」へ

主な内容

- 遺跡の保護 (埋蔵文化財の遺跡地図等)
- 指定・登録文化財 (文化財紹介と登録の仕組み等)
- 歴史点描 (区に関連する史実等を紹介)
- 郷土資料室と文化財係の事業案内等

※ 内容は今後もどんどん充実していきます。

ご期待ください。

